

法吉小学校だより



# 法吉っ子

令和8年3月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも  
どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

## ◆6年生を送る会

2月20日に、5年生が中心となって6年生を送る会を開きました。今回は、6年生保護者と学校運営協議会の皆様をお招きして実施しました。

卒業生は今年一年、最上級生としてよりよい学校づくりをしてくださいました。それをよく表していたのが、送る会の中で在校生から贈られた言葉です。その言葉とは、次のようなものです。

- ・登校や掃除のとき、やさしくしてくれた
- ・私たちがいつも助けてくれて、たよりになる6年生
- ・運動会の応援合戦でみんなを引っ張ってくれたので、安心してできた
- ・わたしも今の6年生のように、やさしい6年生になりたい

卒業生は皆から愛されているなあと、感じました。それは、これまで6年生が一生懸命働いて、そして人にやさしくできていたからこそ、温かい言葉としてかえってきたのだと思います。

これらのやさしさは、これから大人に向けて成長する上でも大切な宝になるものです。自分たちのそんなよさを大事にして育っていきましょう。



5年生は次期リーダーとして、力を結集し素晴らしい会をつくってくださいました。

## ◆卒業生へ贈る言葉

卒業式の式辞では、卒業生のこれからの歩みが「竹のようにまっすぐ、そしてしなやかに強くあってほしい」という願いを込めて、はなむけの言葉を贈りました。

目標に向かって全力で駆け抜けた運動会、心を一つに美しいハーモニーを奏でた音楽会。そんな皆さんのひたむきな姿は、天に向かって一直線に伸びる竹そのもので、本当に立派でした。

竹の強さの秘密は「節（ふし）」にあります。節ができるとき、竹は一度伸びるのを止めて、じっと力を蓄えるのだそうです。

私たちの人生も同じです。悩み、失敗して立ち止まってしまう「苦しい時」こそが、人生の大切な節になります。壁にぶつかった時、皆さんの心は次の飛躍のために力を蓄え、太く強い節を作っているのです。

中学校生活でも、思い通りにいかないことがあるかもしれません。そんな時こそ「今、自分は人生の節を作っているんだ」と思い出してください。節が増えるほど、皆さんはよりしなやかで、折れない心をもち合わせた人になれるはずです。皆さんの未来が希望の光でいっぱいになることを、これからもずっと応援しています。



ほうきどり

お礼 登下校の見守り、読み聞かせ、図書ボランティア等、たくさんのご支援・ご協力をいただき教育活動が充実したものになりました。感謝申し上げます。

第6期卒業同窓会からご寄付をいただき、遊びグッズを購入させていただきました。ありがとうございました。

電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp